



在マレーシア日本国大使館付属ジョホール日本人学校

学校だより **夢創造**

平成28年9月1日

NO. 5

練習はうそをつかない

校長 藤田英彰

一カ月の夏休みも終わり、今日から2学期が始まりました。この休み中、日本のお友達や家族、また親戚の人たちにあった人もいれば、ゆっくりとおうちの人と過ごした人もいますかと思いますが。来年初めに高校受験を控えた中学3年生は、連日10時間以上も勉強に取り組んでいたとも聞いています。それぞれが、いろいろな意味で有意義な時間を過ごしたことと思います。

1学期末には3人のお友達が帰国少し寂しくなりましたが、今日、新しい9人の友達が加わりました。小学部1年2名、小学部3年2名、中学部1年3名、中学部2年1名、中学部3年1名の男子8名、女子1名です。これで男子44名、女子45名、計89名になりました。9月中旬には小学部に1名、女子が入る予定になっています。友達が増えるのは楽しみですね。新しく来た人たちが早く学校に慣れ、皆さんと一緒に楽しく勉強や行事、また遊びに楽しく充実した時間が持てるように願っています。

ジョホール・バルの8月は涼しい朝があり、日差しが強い日もあり、また雷雨もありましたが、日本では夏の暑さに加えリオデジャネイロからの熱気はすごいものがありました。

水泳400m個人メドレーの萩野公介選手の金メダルを皮切りに、男子体操、柔道、レスリング、また女子バドミントン複でも金メダルを取り、金メダル12個、銀メダル8個、銅メダル21個という過去最高の成績を残しました。私も選手たちの活躍をテレビで応援していましたが、メダルにかかわらず世界最高レベルの選手の戦いや演技には感動を覚えました。

私が特に印象に残ったのは陸上男子400mリレーでした。選手4人が誰も10秒の壁を突破していない日本。その4人が、ボルト選手をはじめ9秒台で走る人たちに勝てるのか。決勝のレースはそんな心配をはねのけるほど、見事なものでした。

ボルト選手が試合後、日本選手のチームワークの良さとバトンの技術の高さを絶賛していました。タイムでは追いつかなくても、バトンタッチの技術を磨けばメダルも見えてくる。その目標のもとに、バトンタッチの練習を何か月もしてきた日本チーム。難しいアンダーハンドのバトンタッチを完璧にしたから



こそ、初めての銀メダルを取ることができたのです。メダリストの誰かが言っていました。「練習はうそをつかない」。この言葉は、メダリストだけでなく、今回のオリンピックに参加した誰もが思っているのではないのでしょうか。これから始まるパラリンピックもオリンピックと同じように、日々練習を積んだ選手の活躍を応援しましょう。

さあ、2学期です。あなたは何を目指して頑張りますか。日々の勉強はもちろん、10月1日にはペスタクラパがあります。中学部3年生はこれからの取り組みが、来年初めにつながります。「努力はうそをつかない」。良い結果が生まれるよう、頑張りましょう。

9月の予定

日	曜日	主な行事予定	部 活	
			小	中
1	木	第2学期始業式 短縮時程		
2	金	短縮時程 墓地清掃 英会話開始 実力テスト(中) 身体測定(小1～小4)		
3	土	墓地供養		
4	日			
5	月	ペスタ特別時程開始 身体測定(小5以上) お話の会(朝)		○
6	火	児童生徒集会	○	
7	水			
8	木	児童生徒集会 委員会⑤		○
9	金	安全点検	○	○
10	土			
11	日			
12	月	Hari Raya Haji		
13	火	児童生徒集会	○	
14	水			
15	木	児童生徒集会 避難訓練 小クラブ⑤		○
16	金	Malaysia Day (マレーシアの日)		
17	土			
18	日			
19	月			○
20	火	児童生徒集会	○	
21	水			
22	木	児童生徒集会 委員会⑥		○
23	金		○	○
24	土			
25	日			
26	月			○
27	火	児童生徒集会	○	
28	水	ペスタクラパ全体練習		
29	木	児童生徒集会 委員会⑦		○
30	金	ペスタ・クラパ準備		